

1 世界に通じた長崎街道

県央地域は、島原半島と長崎市を含めた西彼半島との合流地点であり、昔から交通の要衝として栄えてきました。地域を通る長崎街道沿いは、江戸時代に出島から街道を通過して海外の砂糖と菓子文化が広まり、シュガーロードとも呼ばれています。

東彼杵町は、長崎街道と県北地域への街道である平戸往還との合流地点の宿場町として、さらに近年まで鯨肉の流通拠点として栄えました。

また、波佐見町で作られた陶磁器(コンブラ瓶)は、出島から醤油や酒を輸出する際の容器にも使われ

波佐見町の窯元の煙突の立つ風景



大村市のフルーツ狩り体験

2 フルーツ、お茶、陶磁器など 個性的な特産品

大村市福重地区は「フルーツの里ふくしげ」としていちごや梨、ぶどう、みかんなど良質なフルーツが名産です。収穫の時期になるとフルーツ狩りやスイーツ作り体験を楽しむことができます。

東彼杵町ではお茶の栽培が盛んで、平成29年、30年、令和元年に3年連続で全国茶品評会の「蒸し製玉緑茶部門」で日本一の産地賞を獲得しました。また、内海である大村湾で獲れるなまこは非常にやわらかく中国では最高級品として珍重されています。

波佐見町では約400年前から日用食器が作られており、現在はおしゃれで使いやすい「波佐見焼」として、若者を中心に人気のブランドになっています。

大村市グリーンツーリズム推進協議会

いちご、ぶどう、梨などのフルーツ狩りのほか、「おおむら夢ファームシュシュ」では収穫したいちごを使ったいちご大福やケーキ作りなどの料理体験もできます。

エリア 大村市(福重地区)
問合せ 0957-55-5288
体験 フルーツ収穫体験
料理体験
宿泊 農林漁業体験民宿



(一社)波佐見町観光協会

焼き物が有名な波佐見町で、絵付けやロクロ体験のほか、ピザ作りやかかし作りなどの各種体験を行っています。

エリア 波佐見町
問合せ 0956-85-2290
体験 収穫体験
料理体験、陶芸体験
宿泊 農林業体験民宿



東彼杵町観光協会

日本茶の産地として有名な東彼杵町で、美味しいお茶の淹れ方教室や茶畑散策を実施。外国人旅行者にも高い評価をいただいています。

エリア 東彼杵町
問合せ 0957-46-0900
体験 お茶の淹れ方教室
茶畑散策
宿泊 各種施設の紹介



お茶の淹れ方教室



1 火山と人が共生する地、島原半島

雲仙火山の活動によって生まれた島原半島全域が「島原半島ユネスコ世界ジオパーク」となっています。

雲仙岳は有史以降3回の災害を起こしており、近年では平成2年から7年までの噴火活動で火砕流などによる災害をもたらしていますが、まちは見事に復興を遂げております。また、火山の恵みである肥沃な土壌や豊かな湧水などを活かした農業や、泉質が異なる温泉を活かした観光業など、火山と共生した暮らしが営まれています。

また、火山について楽しく遊んで学べる体験型ミュージアム「がまだすドーム(雲仙岳災害記念館)」が島原市内にあります。



ばれいしょの収穫体験

2 一億人のいぶくろ、島原半島

島原半島はその形が人の胃袋に似ており、農林水産業が盛んであることから「一億人のいぶくろ」とも呼ばれ、長崎県の農業産出額の約4割を島原地域が占めています。大根や人参、レタス、いちごなど多種多様な品目が生産されており、特に長崎県が全国で3番目の生産量を誇るばれいしょ(じゃがいも)はその多くが島原半島で生産されています。また、牛、豚、にわとりなどの畜産も盛んです。

半島は、有明海と橘湾に囲まれており、アラカブやタコなどの海産物も特産品になっています。

(一社)島原半島観光連盟

雲仙温泉郷、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」、島原半島世界ジオパークなどを生かした様々な体験が可能です。

エリア 島原半島全域
問合せ 0957-62-0655
体験 島原半島ジオサイト巡り、歴史散策、天草灘のイルカウォッチング
宿泊 各種施設の紹介



歴史散策

島原市新農泊推進協議会

島原市を中心に島原半島で、各種の体験&個人と団体も利用可能な施設・宿泊、地産地消の料理等を提供する「あそんで、まなんで、つながる」プラットフォームです。

エリア 島原市
問合せ 0957-60-4876
090-4602-1860
体験 自然体験、工作体験、料理体験
宿泊 簡易宿所、民宿



普賢岳トレッキング

(一社)南島原ひまわり観光協会

宿泊する家庭ごとに農業、漁業などを体験できます。修学旅行のほか、一般の方も申込みいただけます。※宿泊を伴う体験となります。

エリア 南島原市
問合せ 0957-65-6333
体験 歴史散策、料理体験、農林漁業体験
宿泊 農林漁業体験民宿



イルカウォッチング